

企業紹介

地域密着!生活者の視点で多くの情報を届ける情報発信基地

JCV 上越ケーブルビジョン
CCJグループ

代表取締役社長 宮澤 英文
〒943-8522 上越市西城町2-2-27
TEL 025-526-2111 FAX 025-524-6118
http://www.jcv.co.jp/

業 種：放送業
資 本 金：4億8,000万円
事業内容：テレビ放送・インターネット接続サービス
電話サービス

ケーブルテレビ網を利用した放送サービスを行う上越ケーブルビジョン(株)。地域に密着したテレビ局として、地元ならではの情報を独自のコミュニティ番組で発信している。来年で設立30周年を迎える同社は、視聴者と連携した番組づくりをするなど、情報発信基地としてさらなる進化を続けている。

地域に支持され世帯普及率60%以上

同社の設立は昭和59年。同社の放送エリアである上越地域は、全国有数の豪雪地帯のため、雪の重みでアンテナが壊れ、テレビが見れなくなることも度々ある。こうした環境のもと、ケーブルテレビ網を利用した同社の放送サービスは、設立当初から地域住民に支持されてきた。

現在では、上越市(旧市内・板倉・大潟・頸城地区)のほか、妙高市全域にも開局。全国のケーブルテレビ普及率が約36%のところ、同社は60%を超え、約40,000世帯が加入している。

地域密着型コミュニティ番組は生活の情報源

同社では、他局の地上デジタル番組などの放送に加え、地元のニュースやイベント・企業紹介など地域に密着した独自のコミュニティ番組を数多く制作し放送している。その内容や種類は変化に富み、英語教育番組「Tic Tac Toe」では地元小学校で訪問授業を実施。生活情報番組「ジェイミータッチ」では緊急情報のほか、地元スーパーのセール情報を詳細に伝えるなど、視聴者が求める身近な話題をたくさん提供している。

さらに、定点カメラを上越・妙高市内に多数設置し、道路や河川の状況をリアルタイムで放送。特に、冬は積雪や除雪状況も毎日確認できることから、生活の情報源として役に立っている。

加入者一人一人の満足度向上を追求

同社は、インターネットサービスなども積極的に展開し、全てのケーブルを銅線から光ファイバーに移行。インターネットとコミュニティ番組を連携させ、視聴者が番組内に直接「催し案内」を投稿できる仕組みも構築した。

今後は、情報伝達量の多い光ファイバーの利点を活用し、チャンネル数の増加や生活密着型の新番組を検討するなど、加入者一人一人の満足度向上を追求し、情報発信基地として、地域とともに歩んでいく。



▲地元のニュースを毎日伝える「つばめステーション」



▲イメージキャラクター「ジェイミー」みんなで歌って踊る「きらきらスマイル」



▲上越地域イベントの生放送取材の様子



▲詳細な生活情報を見られる「ジェイミータッチ」